



〔図G－1〕 全国の降下物中のSr－90、Cs－137平均濃度

1980年まで中国で大気圏核爆発実験が行われていた。その後Sr－90及びCs－137の濃度は減少したが、1986年のチェルノブイリ原子力発電所の事故により、特にCs－137濃度が高くなっている。